

1/25 宜野湾市CKD(慢性腎臓病)・糖尿病性腎臓病対策連携協定

宜野湾市、一般社団法人中部地区医師会(中田安彦会長)、全国健康保険協会沖縄支部(金城均支部長)の三者で協定を結ぶ「宜野湾市CKD・糖尿病性腎臓病対策連携協定」の調印式が執り行われました。同協定は、三者が相互に連携・協力を行い、慢性腎臓病(CKD)および糖尿病性腎臓病対策に関する取り組みを通じて、市民の健康維持・増進に資することを目的としています。中田会長は「地域住民の健康な生活を守るためにも、個別に対応するのではなく、三者が一体となり、組織として取り組むことで腎臓病予防に繋がりたいです」と話し、金城支部長は「行政、医療、保険者が連携して機能し、早期に適切な治療、指導、助言を行える体制の構築を目指してまいります」とあいさつしました。



1/28 林内閣官房長官来訪

普天間飛行場視察のため、林芳正内閣官房長官が宜野湾市役所を来訪しました。市役所の屋上から普天間飛行場を視察し、松川市長より同飛行場の概要説明を行うとともに、同飛行場の一日も早い閉鎖・返還と返還までの間の危険性除去および基地負担軽減等について意見交換を行いました。

また、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地における沖縄健康医療拠点整備の進捗等について説明を行いました。



地域の皆さんに愛され走り続けた20年間

宜野湾市民図書館・移動図書館「ちゅらゆめ号」は、本館から半径1.0km以上の離れている住民や、一人では図書館への来館が困難な小学生に対して、資料の貸出、返却、予約、リクエスト等のサービス実施を図り、利用者の拡大、読書の普及を図ることを目的に平成14年3月3日から運行が開始されました。

当時の最先端の移動図書館車両でありました。また、市内18箇所ステーションから始まり、現在では25箇所ステーションまで範囲を拡大し、平成15年度から令和4年度まで延べ9968回の巡回、利用者累計17万8415人、68万1707冊の資料を提供してまいりました。しかし、運行開始から約20年を迎えた現在、車両の老朽化が進み令和6年5月中の運行を最後に廃棄車両となります。



ステーション追加♪のお知らせ

令和6年4月より大謝名団地公民館が新たなステーションに加わります!

近隣にお住まいの皆さまはもちろん、お近くにお越しの皆さまのご利用をお待ちしています!

ちゅらゆめ号巡回
カレンダーはコチラ▶



問合せ 市民図書館 ☎897-4646



今後の遠隔地への図書館業務は、令和6年6月より新規車両を迎え入れ、新たな世代の環境に沿った安全安心な移動図書館業務に努めて参ります。

利用者の皆さまには、多大なる感謝を申し上げますとともに、これからも移動図書館「ちゅらゆめ号」のご利用をお待ちしております。

